



さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

概要版

解説版



佐呂間町教育委員会

～ はじめに ～

学びや生活の基盤が育まれる架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校第1学年までの2年間）の教育について、保育所や小学校、福祉関係機関等が、立場の違いを越えて連携・協働し、教育の内容や方法を研究するなどして、その質的向上を図ることが求められています。

佐呂間町では、北海道が令和4年度に3カ年計画で立ち上げた「北海道版幼児教育スタートプログラム事業」に参加する形で、令和5年度に「佐呂間町架け橋プログラム事業」を立ち上げました。そして、町内外の学識経験者や教育関係者にご協力いただき、ワーキンググループや開発会議を重ね、令和6年度末にこの「さろまっ子虹の架け橋カリキュラム」を完成させることができました。

佐呂間町の全ての子どもに、しっかりとした学びや生活の基盤を形作ることができるよう、この「架け橋カリキュラム」が活用され取組が展開されること、さらには、より実効性の高いものへと改善されることを期待しています。

佐呂間町において架け橋期の教育に関わる全ての皆様、何とぞよろしくお願いいたします。

令和7年3月

佐呂間町教育委員会

も く じ

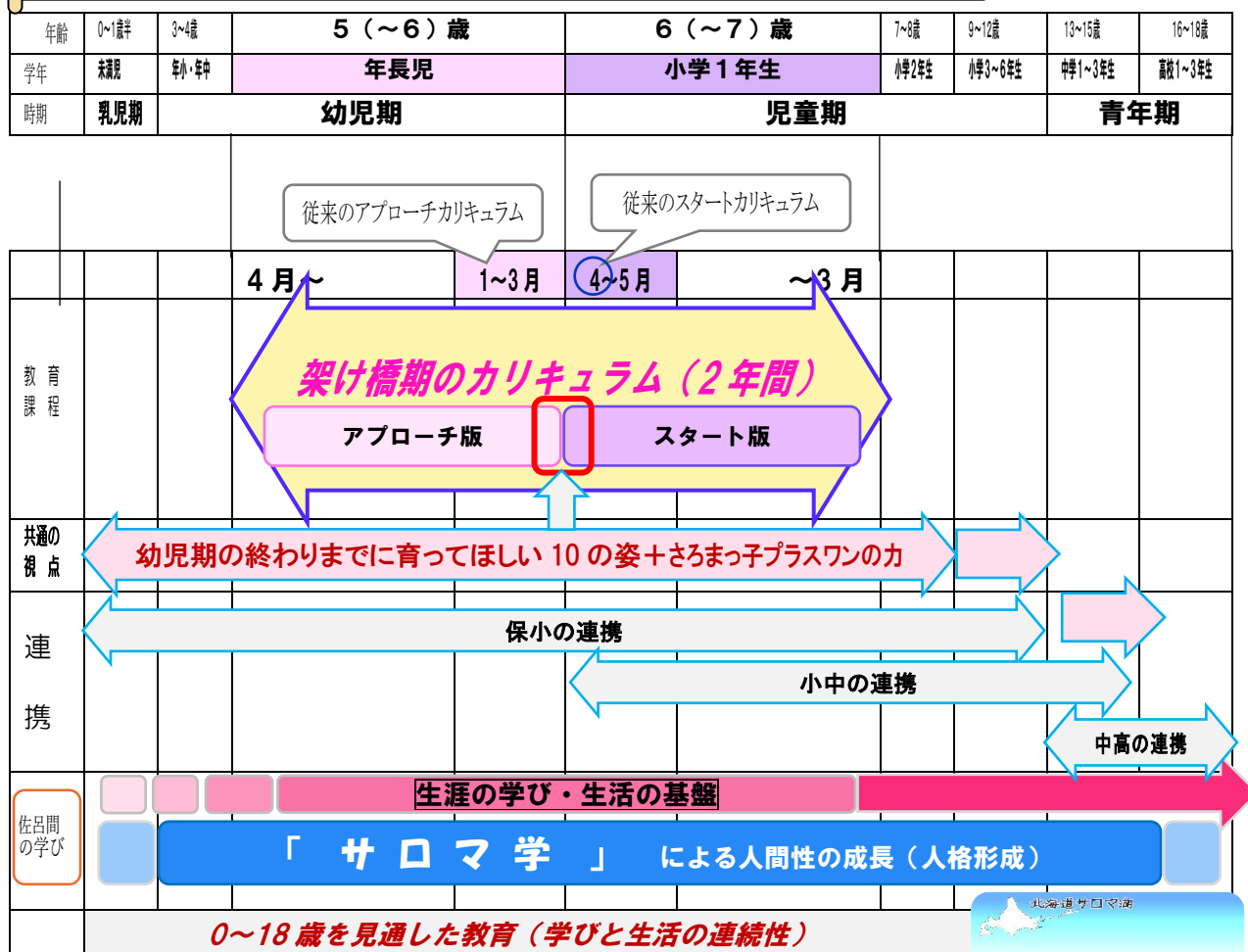
- 1 さろまっ子虹の架け橋カリキュラムについて（背景）……………1～7
- 2 カリキュラム概要版・解説版について……………8
- 3 カリキュラム概要版……………9～10
- 4 カリキュラム解説版
 - （1）架け橋期のアプローチカリキュラム解説版……………11～20
 - （2）架け橋期のスタートカリキュラム解説版……………21～35
 - （3）4月のスタートカリキュラム（小学校）……………36～41
- 5 「接続と連携」のポイント……………42～65
- 6 参考資料……………66～69
- 7 編集協力者一覧……………70

さろまの 3 どもたちを つなごう と もに



1 さろまっ子虹の架け橋カリキュラムについて（背景）

●生涯の学びの基盤としてのさろまっ子架け橋カリキュラム



●全国的な課題と佐呂間町の取組（『手引き』*の視点から）

☆施設類型の違いを越えた共通性が見えにくい（全国の課題）

→佐呂間町のワーキンググループの協議や日々の実践を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かり（共通の視点）とし、**資質・能力を検討し、それをつなぐカリキュラム**として整備へのご協力をいただきました。



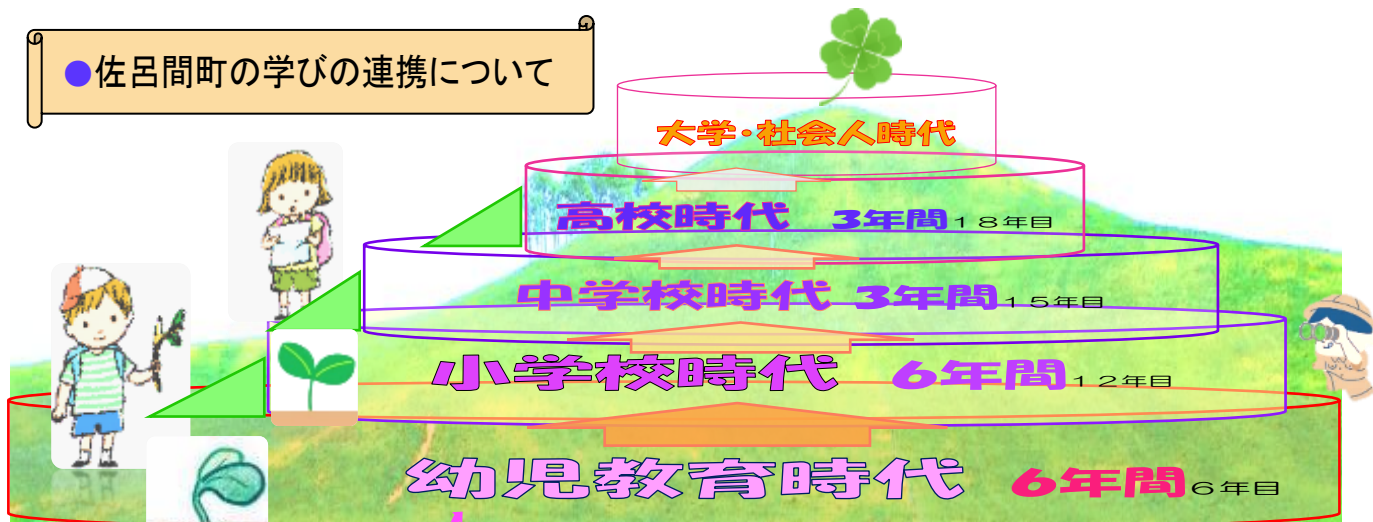
★「日々活かせる視点・ヒント」として有効活用できるように

★明日に生きる今日の学び、研修となるように



* 幼保小の架け橋プログラムの実施に 向けての手引き（初版）

●佐呂間町の学びの連携について



「生涯にわたる人格形成の基礎」(教育基本法)

♠ リュックに何を背負って行けば良いのか？

- ① 「意欲・粘り強さ・協調性」などの社会情動的スキル(非認知能力)*
- ② 知力・体力 をよりバランス良く

そのために

- 先にあるものを見通したい
- 今までの学びを生かしたい
- 可能な限り安心できる環境づくり

接続は

これからの見通しを持ち
今までの学びを
踏まえる

※生活様式や学びのギャップや段差、「戸惑いの壁」への配慮をどの面で出来るか？

教育課程の構成原理の違いは
必要な違いであるが、
子ども一人一人自身にとっての
発達や学びは幼児期と児童期では
はっきりと分かれるものではない。

現状
は

戸惑いや悩み
を一人で抱え
込む状況...

が全国的に報告
されている*1

♠ この違いや「壁（ギャップ）」を埋めて、共通の視点となるものが

「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」です

→ これを共通の視点として生活と学びの接続に活用していきたい。

同時に、「これまでの育ち」と、この時期の「子どもの発達の流れ」を踏まえる。

- ♠ 保育者、教職員の関わり（援助や指導、プロセス）の共通性、各施設の環境づくり、共通性への配慮 → それぞれの特性を生かしながらも同じ眼で
- ♠ 架け橋期（5歳児から小学校1年生までの2年間）を土台として、その後の小・中・高、18年間の生活と学びをつないでいく。

*1 巻末の資料を参照ください。



●「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」とは？



♠ 幼児期にふさわしい遊びや生活を十分に積み重ねることにより、次のような「具体的な姿」が少しずつ見られるようになります。これは、**到達目標ではなく、伸びゆく姿**です。子どもたちにこれらの「**根っこ**」がしっかり育っていると、小中高そして社会で**あと伸び**します。^{*2}

健康な心と体

保育所（園）の生活の中で、**充実感**をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。



自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で 行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。



数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

●カリキュラムづくりの経過



各地区ワーキンググループの様子（R5年度）

「架け橋カリキュラムづくり」と、

●多くの素晴らしい実践を見せていただきました



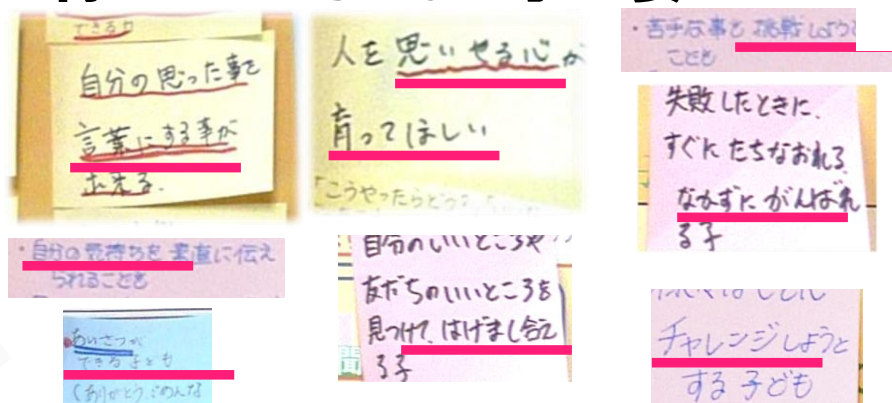
「架け橋期のカリキュラム（概要版）」を意識しながら、先生方の数多くの、素晴らしい実践を見せていただきました。先生方の日々の実践をベースに架け橋期の子どもの学びをカリキュラム解説版にまとめました。ご協力大変ありがとうございました。
ぜひまた、新たな工夫と、新たな実践への手掛かりとしてください。

●佐呂間町の子どもをどのように育てるか

～昨年のワーキンググループの協議から～

昨年9月から12月までの各地区の施設、学校の委員の先生方からの約 60 余りの声をもとに、「さろまの教育」との関連を持ちながら3つに集約していきました。

育てたい さろまっ子の姿



参考資料2 「育てたいさろまっ子の姿」について(案) 令和5年度 第2回開発会議

令和5年12月 架け橋プログラムワーキンググループより

	【学び・コミュニケーションの力】	【協同・豊かな心】	【体力・自立・チャレンジ】
保育所	★感謝の気持ちや自分の気持ちを素直に伝えられる子ども ★相手の話を聞くことができる子ども	★自分も友だちも大切にできる子★友達を受け入れたり、思いやれる子ども★楽しさや喜びを友達と共有出来る子ども	★丈夫で明るく元気な子★あきらめずに苦手なことにもチャレンジしようとする子ども
小学校	★言葉による伝え合いを通し、豊かな未来を創る子ども ★思いや考え、経験したことを分かち合い、自信を持って伝え合える*子(説明)	★共通の目的の実現に向けて考え、工夫、協力できる子ども ★互いを認め合い、励まし合える子	★自他を大切に、負けずに、決めたところまでやり遂げられる子ども ★自分で考え、行動できる子★丈夫で健康な心と体をつくる子
さろまっ子保小	★思いを伝え合い、豊かな未来を創る子	★認め合い、励まし合える子	★健康な心と体を持ち、やり遂げられる子

①「架け橋期の2年間」の中で、共通・一貫し育てたい力として設定したいと考えます。

②保小各期の詳細については、解説版で別途示したいと思います。

●カリキュラム実践のポイント～保小つなげて伸ばしたい姿・力～

幼児教育	共通してつなげて伸ばしたい姿・力 ～架け橋期の特長～	小学校教育
❖ 幼児期にふさわしい遊びや生活を通し発揮できる環境づくり	【幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿】 … 活動の場面や教科等で現れる子どもの姿 ★健康な心と体 ★自立心 ★協同性 ★道徳性・規範意識の芽生え ★社会生活との関わり ★思考力の芽生え ★自然との関わり・生命尊重 ★数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ★言葉による伝え合い ★豊かな感性と表現	❖ 学習の場で発揮できるように指導構想・計画に組む
遊びや生活で育ちつつある 資質・能力と遊びのプロセス 学びの芽を伸ばす 	知識及び技能の基礎 特性に気付く 感じる（発見する） 分ったり、できるようになったりする 思考力、判断力、表現力等の基礎 考える 試す 工夫する 表現したりする 学びに向かう力、人間性等 心情、意欲、態度が育つ中で、 より良い生活を営もうとする 遊びや学びのプロセスで発揮される力 ○自発性 ○興味・関心・好奇心・探究心 ○試行錯誤 ○予想、予測、比較、分類 ○触れ合い、新しい考えを生み出す喜び ○見立てる、構成する ○発見・表現の喜び ○諸感覚を発揮する ○体を十分に使う など	教科等で育ちつつある 資質・能力と学びのプロセス 自覚的な学び（学びの双葉）を伸ばす 
❖実践の振り返り	1. 架け橋期の資質・能力を発揮できる場を設定できたか 2. 子どもが生き生きと活動に取り組めたか（よさの発揮）	

「主体的に自己を発揮しながら学びに向かう子ども」を
育むために 自から考え、探究し、発見する力 を伸ばす

☆目指すところは、先細りせず、あと伸びする生きる力です。

➡ 生涯にわたって生き、人生を切り開いていく力（問題解決の能力）。

☆子どもの発達には切れ目なく連続しています。幼児期保育5～6年の充実した生活と遊びや遊びで培ったことが、子どもたちの認知や心の土台を形成してきました。それまでの「活躍と自信」を積み重ねて小学校へと入学します。

➡ しかし、小学校生活との「違いや不安」は大きい。学びと生活をどうつなげられるか？

2 架け橋カリキュラム【概要版・解説版】について

架け橋期のカリキュラム作成に当たって

- ❖この「虹の架け橋カリキュラム」は、佐呂間町各地区の保育所・小学校の保育士の皆様・教職員の皆様の御意見によるワーキンググループの協議と、授業や活動実践における先生方の日々の様々な工夫及び、振り返りの協議をもとにしながら、佐呂間町架け橋カリキュラム開発会議での委員の皆様の貴重な御意見・御協議を経て作成いたしました。
- ❖「解説版」は「概要版」の意味合いと、元になった資料や活動を解説しています。
- ❖アプローチカリキュラムの各項目や内容は主に「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」「**佐呂間町各施設の実践事例、年間指導計画**」「**保育所保育指針解説**」を参考に編集しています。
- ❖スタートカリキュラムの各項目や内容は主に、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」「**佐呂間町各小学校の単元配当表、年間指導計画**」「**小学校学習指導要領解説(各教科・総則編)**」を参考に編集しています。

活用の仕方について

1 位置づけの確認のために

子どもたちの発達の全体の流れ（今までとこれから）の中で、「この活動が今、どの地点に立っているものなのか？」を知り、位置づけを確認するための資料として活用ください。

2 ヒントとして

子どもたちの発達の全体の流れの中で、活動の意味合いを参照するための「手掛かり」や「足場」として、活動を描くためのヒントとして活用ください。

●保育所：「**小学校へとつながる活動を見通す・追求する**」

●小学校：「**保育所からの育ちを踏まえる・生かす**」 【巻末資料を参照ください】

3 新しい実践への足場として

活動のマニュアルとしてではなく、これを参考に各保育室、各教室の子どもたちに応じて新たな実践を作っていくための「足場」として活用ください。

解説版の本文中の凡例について

「10の姿」	……	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」
アプカリ	……	架け橋期のアプローチカリキュラム
指 針	……	保育所保育指針解説
スタカリ	……	架け橋期のスタートカリキュラム
要 領	……	小学校学習指導要領解説

<表記について>

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」については、カリキュラムの中で一部表現を省略した表記を用いていますが、正しくは本解説書のp4にあるそれぞれの表現ですので、御理解ください。

※保育所と小学校の共通の部分として「子ども（たち）」という表記を使用しています。（参照：「子供（たち）」～小学校学習指導要領等）

さろまっ子

虹の架け橋カリキュラム

概要版

アプローチカリキュラム概要版

スタートカリキュラム概要版





さるまっ子虹の架け橋アプローチカリキュラム

概要版

※丸数字は指導用資料（解説版等）の番号です。

育てたい さるまっ子の姿		思いを伝え合い豊かな未来を創る子		認め合い、励まし合える子		健康な心と体を持ち、やり遂げられる子	
期	第Ⅰ期〔準備期〕 助走	第Ⅱ期〔進展期〕 ホップ	第Ⅲ期〔発展期〕 ステップ	第Ⅳ期〔充実期〕 ジャンプ	共通の観点 10の姿		資質・能力支援
月	4月・5月		6月・7月・8月・9月		10月・11月・12月		1月・2月・3月
保小一貫して育てたい力 ねらい 各期に予想される こどもの姿	さるまっ子+1の資質・能力 豊かなコミュニケーション力【重点】 : 読む力の基礎（聞いて理解する） : 聞く力の基礎 *「季節の行事」を除く活動は、通年で実施しています		◎喜んで登所・仲良くあそぶ ★年長組になった喜び～リーダーとしての活躍～		◎元気がいっぱい遊ぶ ★思いを伝え合い経験を広げる		◎決まりを守る ★共通の目的を持って、考え、工夫し力を発揮
学 ぶ 力 かしこく 生きる力 たくましく 人と関わる力 なかく	言葉	絵本 味わう・表現に気付く①	聞く(語りかけ) 共感しながら聞く②	絵本 想像したり、体験と照らす③	伝え合い 伝え合う喜びを感じ、楽しむ ④		言葉 思考力
		遊び・生活 思いを出し合い遊び生活する⑤	会話 体験・思いを伝える⑥	遊び 工夫・協力し合い遊ぶ⑦	作品テーマ 表現したいことをみんなで話し合う⑫		
		日直 元気に司会⑧ 鉛筆 正しく持とう⑨	掲示物 文字に親しむ・読もうとする⑩	おゆうぎ会 感情豊かに表現する⑪			
	環境	遊びや生活～数える 数量への関心 縄跳び、積み木、玉入れ、カルタ、おやつ、給食 ⑬	制作・散策 素材の数や形に気付く⑭ 身の回りの数 合わせていくつ・多い少ない⑯	身の回りの形 組み合わせ・大きさ・長さ⑮ カレンダー・時計 何日、何時ごろ、数字⑰	遊びや生活～数を使う 文字や数量、 標識などを生活で使おうとする ⑱		数・形・標識・文字 思考力
		畑栽培 野菜の苗植える⑲	お世話 動植物の命を育む⑳	収穫 ㉑ 調理 ㉒	情報や施設 ㉓		社会生活 自然・生命
		散歩 自然に触れる㉔	野外観察 生き物に触れ調べる㉕	落ち葉・秋の実集め㉖ 焼き芋会・制作㉗	雪遊び 雪や氷に親しむ・体験する㉘		
	表現	朝の歌 友達と元気に歌う㉙	制作 素材を生かした造形⑳	表現 心豊かに歌、鍵盤、おゆうぎや色々な表現を楽しむ㉛	修了作品 協力して制作、表現する喜びを味わう㉜		表現性・心と体
		遊び 元気に一杯に遊ぶ運動する ㉝ 生活リズム㉞	生活・安全 安全な遊び方・休息、衣服の調節や衛生㉟	体力 十分遊ぶ・運動する（マラソン、多様な運動）㊱	保健 健康な生活に必要な習慣を身につける㊲		心と体 健康な
	人間関係	あいさつ㉟ 元気に挨拶する。朝・帰り返事・感謝（言葉と人間関係）	自ら行動㊳ 共感・励まし ㊴	遊びのルール・話し合い㊵	ふれ合い交流 地域・親子・異年齢の交流㊶		自立心 道徳性・規範意識
		お世話活動 ㊷ 関わる力 豊かなコミュニケーションの力 ㊸	良い言葉㊹ 聞く・話す・食べる㊺	役割の自覚・挑戦 ㊻	修了に向けて 共通のテーマに向かって、協力しよう㊼		社会生活との関わり 関係調整力
年間行事	入所式 発育測定 お誕生会（各月） こどもの日お楽しみ会 避難訓練（毎月）健康診断	七夕お楽しみ会 お泊まり会 運動会 保小交流① 遠足 参観日 保小交流②	マラソン大会 収穫・調理 やきいも会 おゆうぎ会 老人ホーム慰問 *お餅つき	雪中運動会 節分豆まき会 参観日 ひな祭りお楽しみ会 年長お別れ会 修了式			
学び遊びのプロセス		保小共通の力 自ら遊び、自ら学ぶ～「わくわく」「やってみよう！」など主体的に関わる力※興味・関心・好奇心・心動かす体験で得た学びの芽（観察→発見、試す→工夫→創造）遊びのプロセスを活かす㊽					
指導上の 配慮事項	先生の 関わり	★主体性を育む関わり 「待つ」「促す」「問う」「見守る」㊾ ・自分から言葉で伝えられる ・自分から気付いて、行動できる		★話を伝えるときの関わり 「考えさせる」「話し合わせる」「やらせてみる」㊿ ★寄り添い、安心できる言葉掛け ★発達に応じた援助 ★注意ひきつけ			
	環境の 構成	★諸感覚を発揮させる環境 ～ 裸足・身体・多様な素材・感触・感覚統合㋀ ★多様な遊びの環境づくり ～ 遊技場・積み木・外遊び・遊具砂場、園外散歩コース		★絵本や掲示物・標識・マーク～子どもの見やすい所に絵本や掲示物を配置㋁ ↳ 季節ごとの作品や掲示物の工夫 ↳ 下駄箱・ロッカーにイラストマーク+ひらがなの名札プレート等			
保小の交流活動		★保小の子ども同士の交流活動 ～保小相互の訪問～「遊びや、ふれ合いのある交流活動」「学びのある交流」「小学校の校内の様子・学校環境・児童に会う」交流などを実施する。㋂					
ご家庭 への お願い ㋃	健康 学び	★健やかな生活リズムをつくりましょう		★早寝・早起き・朝ご飯・トイレを大切にしましょう		★絵本などの読み聞かせをご家庭でもやってみましょう	
	社会性	★元気の挨拶を家庭でも、育みましょう		★安全な登所・降所、交通・歩行ルールを身に付けましょう		★子どもの話をよく聞いてあげる習慣を大切にしましょう	
		【ご家庭との連携】 「連絡帳」や「懇談会」などで、子どもの様子や育ちを伝え合いましょう㋄					



さろまっ子虹の架け橋スタートカリキュラム

概要版

※丸数字は指導用資料(解説版等)の番号です。

育てたい
さろまっ子の姿

思いを伝え合い豊かな未来を創る子

認め合い、励まし合える子

健康な心と体を持ち、やり遂げられる子

期 月		第Ⅰ期〔準備期〕 4月・5月・6月		第Ⅱ期〔進展期〕 7月・8月・9月		第Ⅲ期〔発展期〕 10月・11月・12月		第Ⅳ期〔充実期〕 1月・2月・3月		学習指導要領 内容(目標)
教科等		共通の観点 10の姿		保小一貫して育てたい力 ★さろまっ子+1の資質・能力		豊かなコミュニケーション力【重点】		読む力 聞く力 書く力		：通年の活動 ：架け橋期の特長や視点
伝える力 数量感覚 自立・探究 表現力・自己調整力 関係調整力	学 ぶ 力 か し く 生 き る 力 た く ま し く 関 わ る 力 な か よ く	国語科	思考力 言葉による伝え合い	読もう 聞いて、感じて、伝えよう ①	展開 場面、人物、順序をとらえよう ②	想像 人物の行動を想像しよう ③	想起 経験と結び、感想を持とう ④	読む力		
				話そう 思いを伝えよう ⑤	相手意識 伝わるように話そう ⑥	工夫 声や順序を考えて伝え合おう ⑦	工夫Ⅱ 5W1Hで説明しよう ⑧	話す力		
				聞こう 相手を見て聞こう ⑨	感想と理由 感想と理由を言おう ⑩	考えて聞く よく聞いて、話をつなごう ⑪	情報 よく聞き、情報を整理しよう ⑫	聞く力		
				書こう 持ち方・姿勢を考えよう ⑬	主語と述語 主語と述語を見つけて書こう ⑭	書いて伝える 記録して伝えよう ⑮	書く工夫 続き方・まとまりの工夫をしよう ⑯	書く力		
	算数科	思考力 数量・図形・標識文字	数の大きさ 身の回りの物の数・順序 ⑰ →興味・関心を持って探す、数える、合わせよう	式と計算 場面の絵を見て、問題を読み、多い少ないを考え、式にしよう ⑱	式と計算 3つの数をお話・ブロック・式で表現してみよう 足し算・引き算を工夫しよう ⑲	式と計算 大きな数はどうやって数える？数のまとまり・生活では？／式の工夫 ⑳	数の概念 式と計算			
			時刻 何時かな？ ㉑ 式と計算 数のお話と計算 ㉒	数の整理 身の回りの物の個数は？ ㉓	図形 形で遊ぼう、組み合わせてみよう ㉔	測定 探検！～測ってみよう／何時何分？ ㉕	測定 図形			
	生活科	社会生活との関わり 自然・生命尊重	学校大好き ㉖ 出会うワクワク感や期待を持って学校探検しよう	咲いてね私の花！ ㉗ 植物の命をよく見てお世話しよう	季節を感じよう1 ㉘ 春や夏の自然を一杯探そう～発見・探求・遊びの工夫	季節を感じよう2 ㉙ 秋を探そう～予想・観察・遊び・作品の工夫	自分・学校・家庭・地域 (体験・探究・表現・自立) 社会・自然			
			家族とわたし 家族が喜ぶこと・自分に何ができるかな？ ㉚	わたしの一年 ㉛ 一杯増えたよ、できること／2年生に向かっての夢	季節を感じよう3 ㉜ 雪や氷など冬の自然を観察しよう／遊ぼう					
	音楽・図工・体育	豊かな表現 心と健康な体	リズム・歌唱 歌う喜びを体一杯に表現しよう ㉜	器楽・音楽づくり 一緒に音楽を楽しもう ㉝	演奏 一緒に演奏する喜びを体験しよう ㉞	歌遊び わらべ歌や歌遊びを一緒に楽しもう ㉟	歌唱・器楽 リズム・歌遊び			
			自由な発想で 好きな形や色、材料を生かして ㉟	工夫して造ろう・描こう 楽しく造って一緒に遊ぼう ㊱	お話のある形や絵 想像を広げて造ろう・描こう ㊲	試して、創って、楽しもう 繰り返し試して創り出そう ㊳	造形・絵画 立体・鑑賞			
関 わ る 力 な か よ く	道徳 社会生活・協同性 自立心・規範意識	運動を楽しもう ルールを知り、運動を楽しもう ㊲	色々な運動 マット・リズム・鬼遊び・プールに挑戦しよう ㊳	目標にチャレンジ マラソン、縄跳びなど目標を持って挑戦 ㊴	冬のスポーツを楽しもう 冬のスポーツ、雪遊び ㊵	体づくり・器具・走・水遊び・ゲーム・表現リズム遊び				
		安全な学校生活 登下校・遊具の安全を知ろう ㊶	体の健康 水分補給や、体調管理、衛生の大切さを知ろう ㊷	調和のとれた生活 1日の生活の仕方を知ろう ㊸	冬の生活・安全 冬の安全な生活、防寒を考えよう ㊹	健康・安全				
		学校を楽しく 挨拶や協力の大切さを話し合おう ㊺	優しく・真っ直ぐ 人・命を大切にし、正直に生きよう ㊻	役割・努力・公平 自分の役割に気付き、実践しよう ㊼	メッセージ 自分の長所を知り、家族に感謝しよう ㊽	自分・人・集団・社会 生命・自然・崇高 (協働・話し合い・人間関係・生き方)				
		どうぞよろしく 「楽しい学級作り」を話し合おう ㊼	お楽しみ会 「楽しい学級行事」を話し合おう ㊽	力を合わせて 学芸会の成功に向けて話し合おう ㊾	見つけたよ！ 自分と仲間の成長を伝え合おう ㊿					
支 え る 力	指導上の配慮事項	豊かに関わる やりたい遊びを友達と一緒に ㊿	生命の安全 命の大切さを知り、防災意識を持とう ㊿	給食・食育 食への感謝とマナーを知ろう ㊿	ようこそ 入学予定児を温かく迎えよう ㊿	現代的な諸課題 生きる力				
		当番 活動を友達と協力して取り組む ㊿	作品発表 思いを自分の言葉で伝えよう ㊿	異学年交流 上学年と心を通わせ交流しよう ㊿	ありがとう！ お世話になった6年生に感謝をとどけよう ㊿					
		年間行事		入学式 一年生を迎える会 避難訓練 運動会	キャンプ・七夕 保小交流① 夏休み 保小交流②	遠足 学芸会 冬休み	書き初め 節分 一日入学 送る会 卒業式・修了式			
		学び遊びのプロセス		保小共通の力 → 自ら遊び、自ら学ぶ～「わくわく」「やってみよう！」など主体的に関わる力 ※興味・関心・好奇心・心動かす体験で得た学びの芽(観察→発見、試す→工夫→創造) 学びのプロセスを活かす ㊿						
支 え る 力	指導上の配慮事項	先生の関わり	★主体性を育む関わり → 「待つ」「促す」「問う」「見守る」 ㊿ ねらい・自分から言葉で伝えられる・自分から気付いて、行動できる		★話を伝える関わり → 「考えさせる」「話し合わせる」「やらせてみる」 ㊿ ★寄り添い、聴く ★安心できる言葉掛け・励まし ★発達に応じた援助 ★注意ひきつけ					
		環境構成	★諸感覚を大切に育て、発揮させる ～体験や身体感覚を意識した環境構成 ㊿ ★段階的に、安心して学べる時間的な環境づくり(無理のない時間構成の工夫)		★安心スペース ～絵本、ブロック、折り紙、ホワイトボードなど触れ合い・居場所づくり ㊿ ★異学年サポート～上級学年がお世話できる学校体制 ★タブレットの段階的な活用～親しむ					
		保小の交流活動		★保小の子ども同士の交流活動 ～保小相互の訪問～「遊びや、ふれ合いのある交流活動」「学びのある交流」「小学校の校内の様子・学校環境・児童に出会う」交流などを実施する。 ㊿						
		ご家庭へのお願い ㊿	健康学び 社会性	★早寝・早起き・朝ご飯・トイレを習慣にしましょう	★家庭学習の習慣づくりをしましょう	★読み聞かせや、お家で読書をしましょう	【ご家庭との連携】 「連絡帳」や「懇談会」などで、子どもの様子や育ちを伝え合いましょう。 ㊿			
			★安全な登下校・交通ルールを覚えましょう	★子どもの話をよく聞いてあげましょう	★家庭のお手伝いを積極的にさせましょう					